

# 第五中学校区義務教育学校 開校準備委員会 NEWS【No.7】

令和5年3月 編集・発行 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会

令和5年2月27日(月)、二色小学校において第7回貝塚市立義務教育学校開校準備委員会が開催され、事務局から2月に実施した校章デザインアンケートの集計結果が報告されました。また、これまで準備委員会で協議してきた二色学園に関する事項について、答申として教育委員会へ結果を報告するための協議を行いました。

## 校章デザインアンケート集計結果

令和5年2月、第五中学校区にお住まいの方を対象に、校章デザインに関するアンケートを実施したところ、349件の回答をいただきました。ご回答いただいたみなさま、ありがとうございました。

アンケートの結果、第五中学校2年生 おぐら はなえ さん 小倉 英恵 さんの作品が選ばれました。



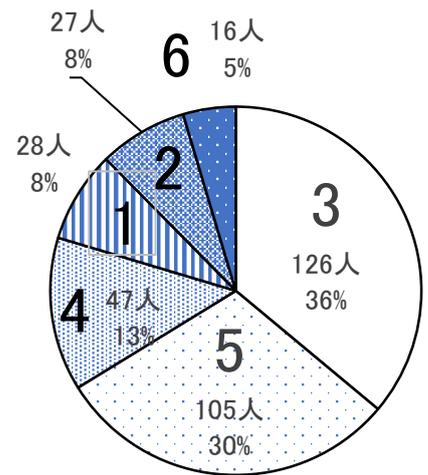
### 【デザインの説明】

枠は海を、丸は太陽をイメージし、太陽に照らされた波のように輝き、勢いがある元気な子どもという思いをこめています。

このデザインを元に、教育委員会から有識者にデータ化を依頼し、校章を完成させます。

なお、全体の結果は次のとおりです。

1	五中の今の校章のまん中に、二色学園と入れました。	2	二色小と五中のデザインが似ていたのでそのまま継承しました。また二色なので二色の文字を入れました。	3	枠は海を、丸は太陽をイメージし、太陽に照らされた波のように輝き、勢いがある元気な子どもという思いをこめています。
4	二色パークタウンのイメージ、海と船を描きました。二色の「N」と学園の「G」をくっつけました。	5	海が近いので、いかりをモチーフにし、卒業生にとって学校が心の港となる願いを込めました。みんなが輝くように星をつけました。	6	七枚のはなびらは、二色の二と五中の五を足した七であり、市の中で最も海に近いので、波をイメージしました。



「3」のデザインを選んだ方が126人と最も多くなり、次に「5」が105人と僅差で続き、「4」が47人、「1」が28人、「2」が27人、「6」が16人という結果となりました。

## 教育委員会への答申について

昨年7月に設立した準備委員会は、教育委員会からの諮問を受け、義務教育学校の名称、校章、校歌などの事項について協議を始めました。

その後、子どもたちや保護者、地域住民の意見を新たな学校の様々な事項に反映させるため、アイデア募集やアンケートを実施し、令和4年10月には、学校名を「二色学園」とする中間答申を教育委員会へ提出しました。

前回の中間答申以降、地域のみなさまからいただいたアイデアやアンケートを元に、準備委員会で協議が整った二色学園に関する事項について、第2回中間答申として取りまとめ、教育委員会へ提出することとしました。

### 第2回中間答申内容(抜粋)

制服	前期課程は着用しない。後期課程は現行デザインを着用する。
体操服	前期課程は現行の二色小学校の体操服、後期課程は現行の第五中学校の体操服をそのまま着用する。 ただし、前期課程の体操服から後期課程の体操服に切り替える時期は、柔軟に運用することとする。
給食	前期、後期課程とも学校で調理した給食を提供する。
校歌	制作する際には、アイデア募集に応募された歌詞、フレーズを活用する。
校章	制作する際には、アンケート結果により選定されたデザインを元にする。

教育委員会では、この答申を元に、必要な協議を重ねながら開校準備を進める予定です。

## 今後の準備委員会について

今回の会議で、令和4年度の会議スケジュールが予定どおり終了しました。

次年度は、教育委員会が開校準備を進める課程で準備委員会の意見を求めた事項や、準備委員会で研修や意見交換が必要だと判断した事項について、協議していく予定です。

お問合せ：貝塚市教育委員会事務局 教育総務課 山本 (TEL433-7106)  
学校教育課 永井 (TEL433-7114)  
Mail kyoikusomu-h@city.kaizuka.lg.jp

義務教育学校のページ  
(貝塚市ホームページ内)



次回会議は4月24日(月)19時から開催します。